

# 1回戦

11年新人戦  
8月26日

# 攻守で圧倒！ 駒大7-2日大

# 打線好調で2回戦へ



公式戦初先発で好投した木村



9回、本塁打を放った横嶋



得点に沸く選手たち

駒大	0	10	2	10	0	2	1	7
日大	0	00	1	00	0	1	0	2

【駒大】	打安点
⑦福山	4 3 1
④砂川	4 1 1
⑥下川	3 2 2
⑨江越	4 0 0
⑤柳原	5 2 1
5江口	0 0 0
DH横嶋	4 2 1
③宇賀神	2 0 0
H3加藤大	2 1 0
②木下	3 1 0
⑧藤原	2 1 0
PH斎藤	1 0 0
8西村凌	0 0 0
計	34166

▽二塁打=横嶋、木下、砂川、下川  
▽本塁打=柳原、横嶋

	回	打安責
○木村	6	22 3 1
塚田	2/3	4 0 0
白井	2/3	1 0 0
高橋涼	11/3	5 1 1
増渕	2/3	2 0 0

打線は柳原悟(法2)、横嶋直樹(商2)の本塁打などで7得点を奪った。

投げては先発・木村大希(営1)が6回1失点と好投を見せ、投打で圧倒し2回戦進出を果たした。

公式戦初先発の木村が苦しみながらも粘りの投球で大学初白星を手に入れた。6回3安打1失点。球速は最速140kmと万全の状態ではなかったが先発の役割を十分に果たしチームの勝利に貢献した。

3回までノーヒットノーラン。完璧な立ち上がりを見せるが4回に2

本のヒットを浴び1点を許す。それでも調子が悪いと語るなかりリーグ戦の経験を生かし、相手打線を抑え込んだ。

「上体だけで投げてしまった。調子は悪かったんですけど、悪いなりに投げるのができた。」

そんな苦しむ左腕を野手陣が助けた。2回に福山亮(経1)の右前適時打で先制すると4回には相手の失策と適時打で2点を追加。さらに5回には柳原に右越本塁打が飛び出し、苦しむ左腕を援護した。9回にも横嶋が本塁打を放つなど終わってみれば13安打、7得点と最後まで攻撃の手が緩むことはなかった。

1、2年生だけで臨む新人戦とあって主将を務めた柳原は「声を出して思い切りいった。次も元気を出していきたい」と抱負を述べ、大学初白星を手にした木村は「勝てるように頑張りたい」とすでに次戦を見据えている。投打のバランスでリーグ戦で敗れた東洋大を相手に大金星を狙いたい。

写真〓丸山翔太、松井智子  
文〓野木聡介